

プロフィール

伊藤忠商事株式会社は、1858年初代伊藤忠兵衛が麻布の行商で創業したことにはじまり、約一世紀半にわたって繊維、機械、情報・通信関連、金属、石油等エネルギー関連、生活資材、化学品、食糧・食品等の各種商品の国内、輸出入および海外取引、さらには損害保険代理業、金融業、建設業、不動産の売買、倉庫業ならびにそれらに付帯または関連する業務及び事業への投資を多角的に行う企業へと進化し、成長を続けてきました。

そして、これまでの当社A&P戦略*の遂行によって確立した高効率な収益構造と強固な財務体質を基に、2006年3月期からは、中期経営計画「Frontier-2006～攻めへのシフトと守りの堅持～」をスタート。①収益規模拡大への挑戦(Challenge)、②新規ビジネスの創造(Create)、③財務体質の更なる改善を始めとする「守り」の堅持により、安定的かつ継続的に連結純利益1,000億円以上を稼ぎ出す高収益企業グループとなることを目指し(Commit)、激しい外部環境の変化へ柔軟に対応すべく伊藤忠グループの総合力を発揮しています。その結果、初年度である2006年3月期には、「攻め」の面で昨年度に引き続き過去最高益を更新、「守り」の面ではNET DER(ネット有利子負債対資本倍率)の更なる改善を達成し、着実に前進出来た年度となりました。

当社の中期経営計画の最終年度である2007年3月期は、「Frontier-2006」の基本方針を継続・強化。「攻めへのシフトの加速」をキーワードに、「攻め」と「守り」を支える最適な経営体制を構築しながら、2006年3月期に前倒して達成した目標をさらに前進させ、収益規模の拡大や新規ビジネスの創造ならびに財務体質の改善を進めます。

*A&P戦略:お客様にとって魅力があり＝「Attractive」、当社が強みを持つ＝「Powerful」な分野に経営資源を重点配分することで、収益力を強化する当社の戦略。2002年3月期～2003年3月期の「A&P-2002」及び、2004年3月期～2005年3月期の「Super A&P-2004」の2つの中期経営計画にて推進。

見直しに関する注意事項

このアニュアルレポートに記載されている伊藤忠商事の計画・戦略・見直し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見直しであり、これらは、現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいています。これらの期待・見積り・予想は、経済情勢の変化・為替レートの変動・競争環境の変化・係争中及び将来の訴訟の結果・調達資金や金融商品・財源の継続的な有用性など多くの潜在的リスク・不確実な要素・仮定の影響を受けますので、実際の業績は見直しから大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願いします。また、伊藤忠商事は新しい情報・将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。